

# ぐんまワクチン手帳導入にあたっての考え方

## 1 前提

- ・ ワクチンには「社会全体の感染抑止効果」「重症化抑止効果」がある。  
→第6波に備え、従前からの感染症対策、医療体制の整備・拡充とともに更なる接種促進が必要、また、ブースターショット（3回目接種）への備えも必要
- ・ 本県では、全国自治体のトップランナーとして接種8割を達成することから、国に先駆けて新たな日常、経済活動の再開に向けての取組を進める。

## 2 趣旨・目的

### ○感染症対策として

- 更なるワクチン接種率向上のためのインセンティブ
- 社会全体のリスクを低減（＝未接種者や事業者にとってもリスク低減）

### ○経済対策として

- 時短・休業要請等で影響を受けた事業者に対する緊急的な需要喚起策
- 第6波を見据え、経済活動を過度に制限しないための県独自のツール

## 3 対象事業（ぐんまワクチン手帳の適用範囲）

- 需要喚起策としての**愛郷ぐんまプロジェクト(+市町村関連事業)**、**GotoEatに限定**  
→行動制限緩和への活用については、国の「ワクチン・検査パッケージ」の具体的内容を踏まえて、今後、慎重に検討